

大関のこども

8月後半号

R2 校長室だより 第7号
令和2年 8月25日

HPアドレス
<http://www.ozeki.ed.jp>

いよいよ2学期のスタート！
感染防止・熱中症対策をしっかりと行います！

校長 濱辺 弘一

わずか17日間の夏休みでしたが、交通事故や大きなけが・病気の報告もなく、8月18日(火)に、2学期の始業式を迎えることができました。夏休み中の保護者・地域の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、なかなか収まる気配がありません。全国各地でクラスターが発生し、小学校の児童や教職員の感染報告もあります。まだまだ不明な点もありますが、新型コロナの後遺症も報告されています。これまで以上に、気を引き締めて感染防止対策を継続していかなければならないと思っています。もう一度、右の8つの約束『ま・け・る・な・お・お・ぜ・き』を意識して、全校一丸となって予防に努めていきます。ご家庭でのご協力も、よろしくお願いいたします。

ところで、2学期には多くの学校行事や学年行事があります。新型コロナウイルス感染防止のために、活動内容等を吟味するの必要はありますが、運動会や自然教室・修学旅行といった、みんなで話し合いながら作り上げていく行事は、児童の「心」の成長を図る絶好の機会になると考えています。1学期は感染防止を優先し、十分な話し合いすらできませんでした。感染状況はまだまだ厳しい状況ですが、コロナ感染防止・熱中症対策をしっかりと行いながら、行事の成功を目指していきたいと思えます。そして、子どもたちと一緒にいろいろな工夫を凝らし、仲間との「絆」をつくるために一生懸命取り組んでいけたらと考えています。チャレンジする子どもたちは、不安な気持ちや自信のない気持ちになりやすいものです。そんな時に、ご家庭での温かい励ましや、頑張っていることを承認してあげる言葉かけが、子どもたちをさらに元気にし、新たにに取り組んでいくためのエネルギーにつながるはずで、子どもたちにとって、『実りある2学期』にしていきたいと思っていますので、2学期もご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

コロナに負けない！
8つの約束

- ま** スクで守ろう、自分と相手
- け** んおんで、毎朝体温チェック
- る** ーるを守って、コロナ予防
- な** やみがあれば、すぐ相談
- お** おきな声は、ひかえよう
- お** たがいの距離は、ソーシャルディスタンス
- ぜ** んいんで、しっかり手あらい30秒
- き** れいな空気、換気しよう

2学期がスタートしました！ 大関っ子が、元気に登校、元気に挨拶!!

8月18日(火) 令和2年度の2学期が始まりました。8月の太陽は、早朝からじりじりと照りつけています。歩いてくる子どもたちは、暑さに負けずに、いつものように元気に登校してきました。児童玄関で手指消毒をしっかりと行ってから、各教室に向かっています。学校行事や学年行事もたくさんある2学期は、子どもたちにとっても楽しみな2学期です。新型コロナウイルス感染予防と熱中症対策をしっかりと行いながら、みんなで頑張っていきたいです。



短い夏休みでしたが、宿題以外にも、自分から挑戦しました！



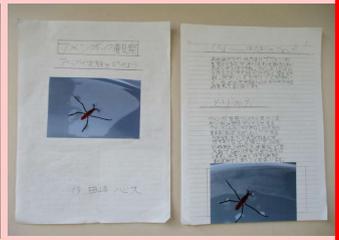
(4年:田◇雅◇)



(4年:鈴○優○)



(6年:飯◎真◎)



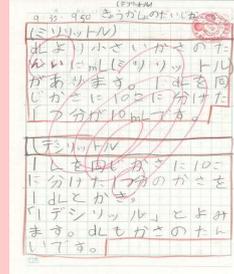
(4年:田◆心◆)



(2年:齊♥彩♥)



(2年:伊♥遙♥)



(2年:西♥愛♥♥)

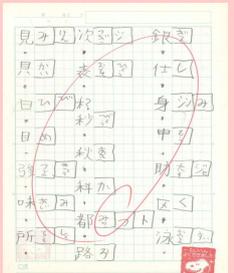


(2年:藤♥梨♥)



(3年:佐々◆)

莉◆)



(3年:藤◇悠◇)



(3年:高◆百◆◆)



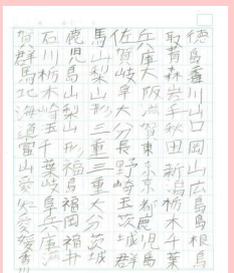
(3年:川◆樹◆)



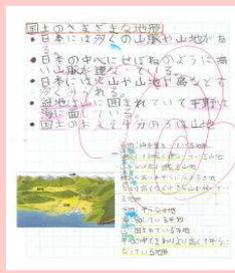
(4年:山○唯○)



(4年:谷○真○)



(4年:西◆龍◆)



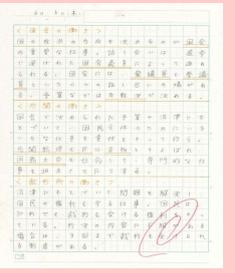
(5年:石●悠●)



(5年:道♥琴♥)



(6年:高◇千◇◇)



(6年:石○穂○◎◎)

令和2年度は、『①まずきこう！ ②自分から！ ③挑戦しよう！』を呼びかけています。

17日間という短い夏休みでしたが、学年からの課題以外に自分からやりたいことを見つけ、自分から挑戦した【自主学習】や【絵】、【理科作品】などがたくさんありました。「やりたいこと」を自分で考え行動できる子ども、すなわち、「課題を見つける力」や「失敗を恐れずに挑戦する力」

大関きらら独り言

「これからの未来を生き抜くできる子の育て方」 洋泉社MOOK に、「**自信のない子どもが多い時代だから、挑戦できる子は、結果がついてくる！！**」という記事がありました。

多くの子どもが挑戦しない時代だからこそ、逆に挑戦さえすれば結果も得やすくなります。子どものメンタルが弱くなっている中、挑戦力を備えていれば、強力なアドバンテージになることは間違いありません。将来に向けてに限らず、今、役立ちます。そして、何よりも必要なのは「**自信**」です。まずは、成功体験により自信をつけさせること。成功体験を味わえば、向上心につながります。また、成功体験と同じだけ失敗体験も大切です。失敗体験がないと、失敗することを怖がり、挑戦しなくなってしまうからです。【挑戦】【失敗】【成功】は、3つでセットといえるでしょう。

『51の成功と49の失敗の法則』で、子どもの挑戦力を育てよう。49の失敗をいかに積むかが重要で、失敗体験をうまく積み重ねることで残りの51の成功体験がより生きます。半分失敗してもいいという楽な気持ちで、「できなくてもいいからとりあえず半年だけでもやってみよう」などと、挑戦させてください。特に小学校4年生頃までは、家庭でトライ＆エラーをする経験が大切です。